

所 報

第130号 平成29年 4月20日

江別市教育研究所所報

江別市高砂町24-6 TEL 381-1058

(主な内容)

江別市公立小中学校の教育活動のスタートにあたって
・「地域とともにある学校づくりをめざして」
全校コミュニティ・スクール化をツールに
教育長 月 田 健 二

平成29年度 江別市公立小中学校の教育活動スタートにあたって

「地域とともにある学校づくりをめざして」 ～全校コミュニティ・スクール化をツールに～

江別市教育委員会 教育長 月 田 健 二

昨年の8月26日に「次期学習指導要領に向けたこれまでの審議のまとめ」が中教審の教育課程部会から発表されました。また、今年の2月14日には、次期学習指導要領の改訂案が公表になり、3月31日には、告示になりました。

そこには、予測困難な時代と断言しつつも、2030年の社会と子どもたちの未来が描かれています。

近年顕著になってきているのは、知識・情報・技術をめぐる変化の速さが加速度的になり、情報化やグローバル化といった社会的変化が、人間の予測を超えて進展するようになってきていることです。

とりわけ最近では、第4次産業革命ともいわれる、進化した人工知能が様々な判断を行ったり、身近な物の働きがインターネット経由で最適化されたりする時代の到来が、社会や生活を大きく変えていくとの予測がなされ、「人間の職業を奪うのではないか」、「今、学校で教えていることは、時代が変化したら通用しなくなるのではないか」といった不安の声もあり、それを裏付ける未来予測も多く発表されています。

しかも、そうした変化が、どのような職業や人生を選択するかに関わらず、全ての子どもたちの生き方に、影響するであろうと考えられています。社会の変化に如何に対処していくかという受け身の観点に立つのであれば、人生そのものが難しい、むなしいことになるのではないかとのことです。

子どもたちは、変化を前向きに受け止め、社会や人生、生活を、人間ならではの感性を働かせてより豊かにしたり、現在では思いもつかない新しい未来の姿を構想し実現する力をつけなければなりません。

そのような力は、次のように表現され、

- ・ 様々な情報や出来事を受け止め、主体的に判断しながら、社会をどう描くかを考え、他者と一緒に生き、課題を解決していく力
- ・ 平和で民主的な国家及び社会の形成者として求められる力
- ・ 生産や消費など経済的主体等として求められる力
- ・ 安全な生活や社会づくりに求められる力

- ・情報や情報手段を主体的に選択して活用していくために必要な情報活用能力
- ・物事を多角的・多面的に吟味して見定めていく力（クリティカル・シンキング）
- ・統計的な分析に基づき判断する力

等が求められています。将来の予測が難しい社会の中でも、伝統や文化に立脚した広い視野を持ち、志高く未来を創り出していくために必要な資質・能力を子どもたち一人一人に確実に育む学校教育の実現が必要です。

これらは、学校だけで子どもたちに付けるのは不可能です。学校が社会や地域とのつながりを大切にする必要があります。そのためには、教育課程そのものを「社会に開かれた教育課程」にする必要があります。

そして、「社会に開かれた教育課程」では、これからの社会を創っていく子どもたちが、社会や世界と向き合い、関わり合い、自らの人生を切り拓いていくために求められる「資質・能力」とは何かを明確化していくことが必要です。

これらを実現させるには、「カリキュラム・マネジメント」が必要と記載されていますが、その実現のためには、「地域とともにある学校づくり」が最適とされています。

地域とともにある学校を簡単に言うと目標やビジョンを地域住民等と共有し、地域と一体となって子どもたちを育むことです。

さらに、地域とともにある学校づくりで求められるものは、マネジメント力です。いま、学校に求められているマネジメント力は、

- ・学校を安全で安心できる場所として守ること
- ・より質の高い学校教育を保障すること
- ・教職員の職能成長を実現すること

です。これからの学校づくりには、教職員一人ひとりに、学校の安全・安心や学校支援につながる地域連携を意識したマネジメント力、質の高い学校教育や教職員の職能成長を高めるマネジメント力等が求められています。

これは、学校の組織文化を変えることにつながり、教師のエンパワーメントを引き出すこととなります。そして、地域とともにある学校づくりのツールとしては、「コミュニティ・スクール化」が最適です。

コミュニティ・スクール化は、教職員だけでなく保護者・地域住民の方々の生きがいや考え方・生き方を変えることにもつながります。

江別市は、今年度全小中学校をコミュニティ・スクールにして、地域とともにある学校を目指していきます。

江別市教育研究所は、昭和30年(1955年)に設立され、今年で62年目になります。その間、北海道教育研究所連盟(道研連)に加盟し、道研連主催の研究大会にも参加してきました。また、昭和54年から研究所の事業や活動内容の報告などを中心に「所報」を発行し、江別市内の教職員の皆様に情報提供しており、昨年度までに129号を発行しました。

平成29年度も、随時発行いたしますので、よろしくお願いいたします。